

# JIS

自動車部品－内燃機関用オイルフィルター  
第2部：全流式オイルフィルタの  
粒子カウント法によるろ過効率試験方法及び  
コンタミネント捕そく（捉）容量試験方法

JIS D 1611-2 : 2003

(ISO 4548-12 : 2000)

(JAPIA/JSA)

平成 15 年 11 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 自動車技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	土 屋 孝 夫	社団法人自動車技術会
(委員)	大 野 陽 男	社団法人日本自動車部品工業会
	角 村 浩	国民生活センター
	川 嶋 弘 尚	慶應義塾大学
	小 林 行 雄	社団法人日本自動車連盟
	斎 藤 敬 三	独立行政法人産業技術総合研究所
	佐々木 要 助	株式会社曙ブレーキ
	鷹 背 豊 二	社団法人全日本トラック協会
	高 橋 彬	日本自動車輸入組合
	平 松 金 雄	財団法人日本自動車研究所
	古 谷 國 貴	株式会社本田技術研究所
	松 本 和 良	国土交通省
	水 野 慶 之	財団法人日本自動車輸送技術協会
	森 部 幸 男	社団法人日本自動車整備振興会連合会
	山 本 迪	早稲田大学
	横 山 文 則	トヨタ自動車株式会社
	和 田 政 信	日産自動車株式会社

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 15.11.20

官 報 公 示：平成 15.11.20

原 案 作 成 者：社団法人日本自動車部品工業会

(〒108-0074 東京都港区高輪 1 丁目 16-15 TEL 03-3445-4211)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：自動車技術専門委員会 (委員長 土屋 孝夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本自動車部品工業会 (JAPIA)／財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、ISO 4548-12 : 2000, Methods of test for full-flow lubricating oil filters for internal combustion engines—Part12: Filtration efficiency using particle counting, and contaminant retention capacity を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JIS D 1611-2 には、次に示す附属書がある。

附属書 A (規定) オイルフィルタ試験油の仕様

附属書 B (参考) 代表的なフィルタ試験報告書

附属書 C (規定) フィルタ効率計算

JIS D 1611 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS D 1611-1 第 1 部：一般試験方法

JIS D 1611-2 第 2 部：全流式オイルフィルタの粒子カウント法によるろ過効率試験方法及びコンタミナント捕そく(捉)容量試験方法